

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.322 2020.11.13

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 11月8日(日曜日)放送「特別委員会だより2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様相など県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、11月8日(日曜日)に放送した「特別委員会だより2」の内容をお伝えします。



荒木 優里

[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です
「特別委員会だより2」

- 経済・雇用対策特別委員会
岡地 優委員長
- 危機管理・大規模災害対策特別委員会
白土幸仁委員長
- 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会
小川真一郎委員長
- 決算特別委員会
武内政文委員長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「特別委員会だより2」】

経済・雇用対策特別委員会 岡地 優委員長

〈経済・雇用対策特別委員会〉

中小企業の振興、先端産業の推進、企業誘致及び働き方改革の推進を含めた雇用に関する総合的対策について審査を行います。

—中小企業の振興について、お考えをお聞かせください。—

委員長 現在、新型コロナウイルス感染症などの影響で、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中でも、中小企業の事業の継続や成長を図る支援を行うことが重要だと考えています。



—具体的にはどのような支援を行うのですか。—

委員長 新型コロナの影響を受けている中小企業等への支援はもとより、ICTを活用した生産性向上への取り組みや、新製品、新技術の開発を支援します。また、今後成長が見込まれる、新エネルギーや航空宇宙モビリティなどの5分野を重点的に支援する先端産業創造プロジェクトでは、開発から事業化までを一貫して支援することで、中小企業の技術革新や経営革新につながっていくと考えています。

—企業誘致についてはいかがですか。—

委員長 本県は首都圏に位置し、充実した広域交通網を有する優位性を生かし、企業誘致を促進しています。個々の企業のニーズにオーダーメイドで対応するなど、積極的な誘致活動を行った結果、およそ15年間に1,100件以上の誘致を実現しています。今後も継続し、さらなる誘致を推進してまいります。

—雇用対策についてはいかがでしょうか。—

委員長 生産年齢人口の減少に伴い働き手が減っていく中で、社会の活力を維持するためには、就職を希望する誰もが働きやすい環境の整備や就労機会の確保が大切です。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、雇用状況が大きく変化しています。求職者と雇用を希望する企業双方への適切な支援が求められているのではないのでしょうか。

—今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

委員長 少子高齢化の進行や最先端技術の普及など本県の経済・雇用状況を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした流れにいち早く適応し、成長につなげていくことが大切です。感染症で大きな打撃を受けた県内経済活動の回復を目指し、今後も委員一同で全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

危機管理・大規模災害対策特別委員会 白土幸仁委員長

〈危機管理・大規模災害対策特別委員会〉

大規模災害などが発生した際の応急対策、またその発生に備えた防災対策、災害支援に関する総合的対策について審査します。

—大規模災害への対策について、お考えをお聞かせください。—

委員長 新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き、感染症対策の徹底が必要です。また、近年は、地震だけでなく、大型台風や豪雨による被災も増えています。県民の皆さまの命と暮らしを守るため、危機管理と防災体制の強化に尽力していきます。



—昨年は台風による大規模災害がありました。どのような課題がありましたか。—

委員長 埼玉県では、被害状況や必要な支援の情報収集のため、県職員を情報連絡員として各市町村に派遣をしています。また、被害状況や備蓄物資の掲示など情報共有を支援するオペレーション支援システムも運用しています。

しかし、連絡員の役割が明確でなかったことや、発災初期に県、市町村の活動が錯綜し、タイムリーな被害情報の収集が困難であったこと、国が管理する河川の決壊情報の連絡の遅れといった課題がありました。

—昨年の課題を踏まえ、情報収集方法の見直しが必要ですね。—

委員長 今後はこうした制度をしっかりと機能させるため、連絡員の育成や役割の明確化、災害オペレーション支援システムによる国との連携強化などに努めてまいります。

—災害から身を守るためには、自助や共助の取り組みも重要ですね。—

委員長 県民の皆さま一人ひとりの防災力の向上や、地域の防災力の強化が重要です。災害への備えは特別なことではなく、日常生活の中で自然に取り組むことができます。埼玉県では「イツモ防災」という取り組みを推進し、周知を図っています。誰もが当たり前前に防災に取り組む埼玉県を一緒に目指しましょう。

—新型コロナウイルス感染症が収束しない中での災害対策についてお考えをお聞かせください。—

委員長 まず危険な場所にいる時は、ちゅうちょせず避難してください。また、3密を避けるため、ご自宅で安全確保ができる場合は、在宅避難の検討もお願いします。今後は、ホテルなども避難場所として使えるよう、官民の連携体制も強化していきます。県民の皆さまの安心・安全を守るため、全力で取り組んでいきます。

[▲トップへ](#)

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 小川真一郎委員長

〈人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会〉

人材育成、教育改革、文化およびスポーツの振興、並びに東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に関する総合的対策について審査を行います。

—教育分野について伺いたいと思います。

—

委員長 特別支援学校の生徒の就労支援について、大きな関心を持っております。障害のある生徒が社会の中で職業人として自らの役割を果たし、生活していくことは本人や保護者のみならず、社会にとっても大切なことであると考えます。



—自立までしっかりと支援したいですね。—

委員長 卒業生が離職した場合の再就職支援などの具体的な質疑が、6月定例会で活発に交わされました。卒業後3年間は地域の就労支援センターと連携しながら、再就職に向け積極的な支援を行っているとの力強い回答がありました。障害の特性を理解している教員が定着支援をしっかりと行うことは、地域での自立に不可欠でございます。今後も注視してまいりたいと思います。

—学校におけるICT環境の充実も大切ですね。—

委員長 多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない教育が求められている中で、児童生徒一人に1台の端末が実現するよう努力してまいります。また、災害や感染症などで休校となった場合に、子どもたちの学びの保障をしていくためには、家庭でのオンライン学習環境の整備が不可欠です。教員のICTを活用した指導力の向上と併せて進めてまいりたいと思います。

—人材育成についてお聞かせください。—

委員長 近代日本経済の父と言われる私の地元出身の渋沢栄一翁が、来年のNHK大河ドラマの主人公に選ばれ、また、新1万円札の肖像に決まるなど、今、日本中から注目されております。深谷市をはじめとする県北一帯には、渋沢栄一翁のゆかりの文化財が多く残されておりますので、子どもたちにはぜひ郷土の偉人の足跡をたどってもらいたいですね。そして、渋沢栄一翁の功績や生き方から多くを学び、志を高く持つことを期待しております。

—今後の活動について、お聞かせください。—

委員長 本県の将来を担う人材育成という重要な課題と、教育改革、スポーツと文化の振興という大きなテーマに、委員一同、全力で取り組んで

まいります。

[▲トップへ](#)

決算特別委員会 武内政文委員長

〈決算特別委員会〉

知事から、決算関係の議案が議会に提出されると設置される委員会です。一般会計や特別会計など、県全体の決算について、審査を行います。

—決算特別委員会は、現在、審査中とのことですが。—

委員長 9月定例会に提出され継続審査となった、一般会計と特別会計、公営企業会計の決算の認定について審査をしております。



—審査はどのように進めているのですか。—

委員長 知事から提出された決算書に基づき、書類だけでは分からない部分や疑問点などは執行部に詳しい説明を求めています。18人の委員が集中的に審査を行い、議会として県の財政運営をしっかりとチェックしています。

—どういった観点から審査をされているのですか。—

委員長 予算の執行は、関係する法令に沿って、適正かつ効率的に行われたのか。また、施策や事業の目的がどの程度達成され、県民サービスや福祉の向上にどのように貢献したのか、などの視点から慎重に審査を行っています。

—令和元年度の一般会計の決算状況は、どうだったのでしょうか。—

委員長 令和元年度決算は、歳入総額が1兆8,415億4,300万円、歳出総額が1兆8,314億5,600万円で、歳入総額、歳出総額ともに前年度と比べ増加しております。平成10年度、11年度に次いで過去3番目に大きい規模となっています。

—歳入の状況はいかがでしたか。—

委員長 歳入のうち、県税について申し上げますと、納税率は98.4%で、9年連続で上昇いたしました。一方、収入額は減額となりました。これは、株式の売買高が減少したことに伴い、個人県民税のうちの株式譲渡所得割が減収となったことなどが理由です。

—歳出についてはいかがですか。—

委員長 歳出のうち、民生費や土木費などが増加しました。民生費は、医療や介護、保育などに使われる経費が増加したこと、そして土木費は幹線道路網の整備や治水対策を進めたことなどが主な要因です。また、昨年台風19号による災害復旧関連経費などに、災害対応に関する支出が発生いたしました。

—委員会での審査結果は、どのようにまとめていかれるのですか。—

委員長 12月定例会で報告を行うことになっています。

各委員の意見を踏まえ、改善や検討を要する事項を指摘した内容になるものと考えています。決算審査は、予算審査と比べて注目は少ないですが、事業の成果などを検証し、次の年度に改善を反映させる意味で非常に重要です。

委員一同、しっかりと審査に取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間
9月23日～
9月25日
◆作者
吉野御流
丸田静佳様
◆花材
ヤハズスス
キ、菊、リン
ドウ、雪柳、
クジャクソウ



◆展示期間
9月28日～
10月2日
◆作者
龍生派
田村雅松様
◆花材
鶏頭、雪柳、オ
ンシジューム、
スズバラの実、
葉蘭、ドラセナ
(ソングオブイ
ンディア)

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈吉野御流 丸田静佳様〉

Q: 満月のように丸い菊が印象的な作品ですね。

A: 十五夜の時期が近いので、月を想起させる黄色い菊を生けました。周りにススキを生けることで、お月見の季節らしい作品に仕上げました。

Q: 雪柳の葉先が紅く色づいており素敵ですね。

A: 雪柳は、秋らしさを際立たせるために紅葉している枝を生けました。議事堂に足を運んだ方に秋の訪れを感じていただけたらと思います。



〈龍生派 田村雅松様〉

Q: 華やかな色合いが目を引き作品ですね。

A: オンシジウムの黄色と合うよう、鶏頭は赤色ではなくマゼンダのものを使用しました。見た方があっと驚くような、秋の明るさを感じられる作品に仕上げました。

Q: 花器を2つ使用されているのですね。

A: 手前と奥に花器を置くことで奥行きを出しています。花器の口をドラセナで覆うように生け、作品に広がりをもたせています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。≫

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

